

ヨルダン砂漠で見いだされるQa' aと疑似氷河地形

TOGO, Masami / ISHIYAMA, Tatsuya / HASEGAWA, Hitoshi / 長谷川, 均 / 石山, 達也 / 東郷, 正美

(出版者 / Publisher)

法政大学多摩研究報告編集委員会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学多摩研究報告 / 法政大学多摩研究報告

(巻 / Volume)

30

(開始ページ / Start Page)

i

(終了ページ / End Page)

ii

(発行年 / Year)

2015-05-30

ヨルダン砂漠で見いだされる Qa'a と疑似氷河地形

東郷正美¹⁾・長谷川 均²⁾・石山達也³⁾

Qa'a and glacier-like landforms found in the Jordanian desert

Masami TOGO, Hitoshi HASEGAWA and Tatsuya ISHIYAMA



写真1 ヨルダン東部、Ruwashid (Hwy10 沿い) の北北西約 25km 付近の空中写真 (1953 年英軍撮影 60-22-135) の一部

砂漠の国ヨルダンで、氷河と見間違いかねない興味深い空中写真映像に出会った。ヨルダン中～東部の砂漠域で多く見出したその事例の一部を写真1～3として示す。いずれにおいても、谷間を埋め尽くす白いものの存在が捉えられており、表面にクレバス様割れ目群を思わせる組織的な平行スジ模様を伴うその姿は、これが一定方向に流動していることを示唆し、氷河を連想させる。しかし、地質図と照合すると、この白い部分はシルト・粘土主体の水成細粒堆積物からなることが分かる。ヨルダン砂漠では、このような水成細粒堆積物が河谷・盆地を埋積して広く分布しており、これがつくる平坦で固化した地表面部は一般に Qa'a と呼ばれ、その一部でやや粗粒な構成層に変化し、植生を伴う部分には Marab の名が当てられる (Allison *et al.*, 2000 ; Abboud, 2007 など)。Qa'a は、その構成層形成期が年代測定結果から最終氷期に限定でき (例えば Al-Tawash, 2007)、ヨルダン砂漠域が当時は湿潤で低湿地、湖沼が広がる環境下にあったことを物語る重要な気候地形とされる。Qa'a が大きく広がる盆地の一つ、Qa el Hafira では、写真3のように Qa'a の一部に横割れ目群を伴った帯が発達し、それらは合流しながら西に向かっている。その様子は、疑似氷河地形が、Qa'a の形成後その一部に生じた地変跡であり、そして、その形成に地下物質の帯状流動すなわち地下水脈の活動が深く関与した事を示唆していて注目に値しよう。

1) 法政大学

2) 国土館大学文学部

3) 東京大学地震研究所

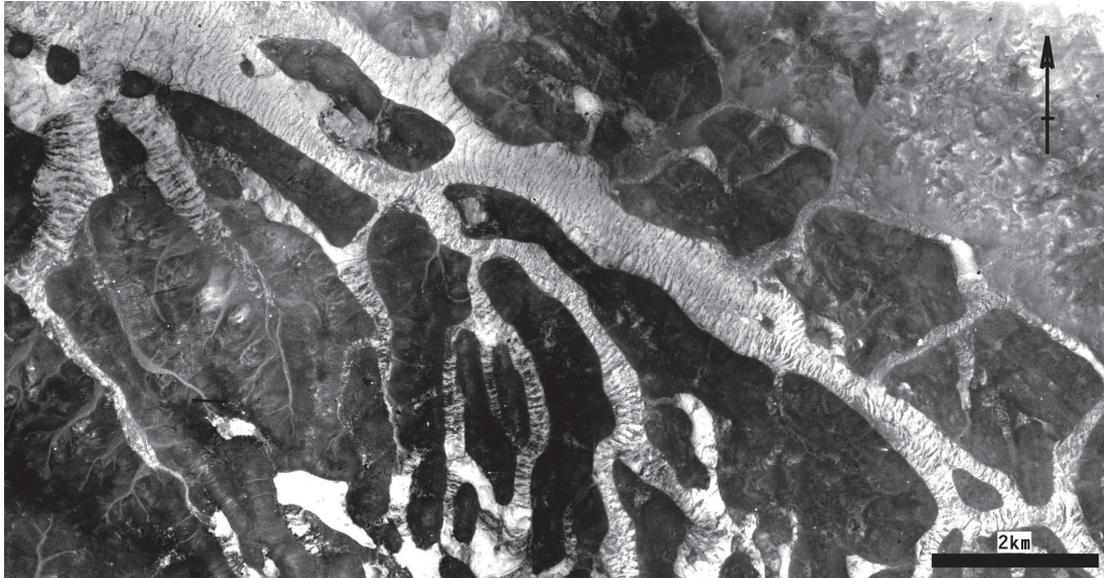


写真2 ヨルダン南東端付近の空中写真（1953年英軍撮影 60-31-052）の一部

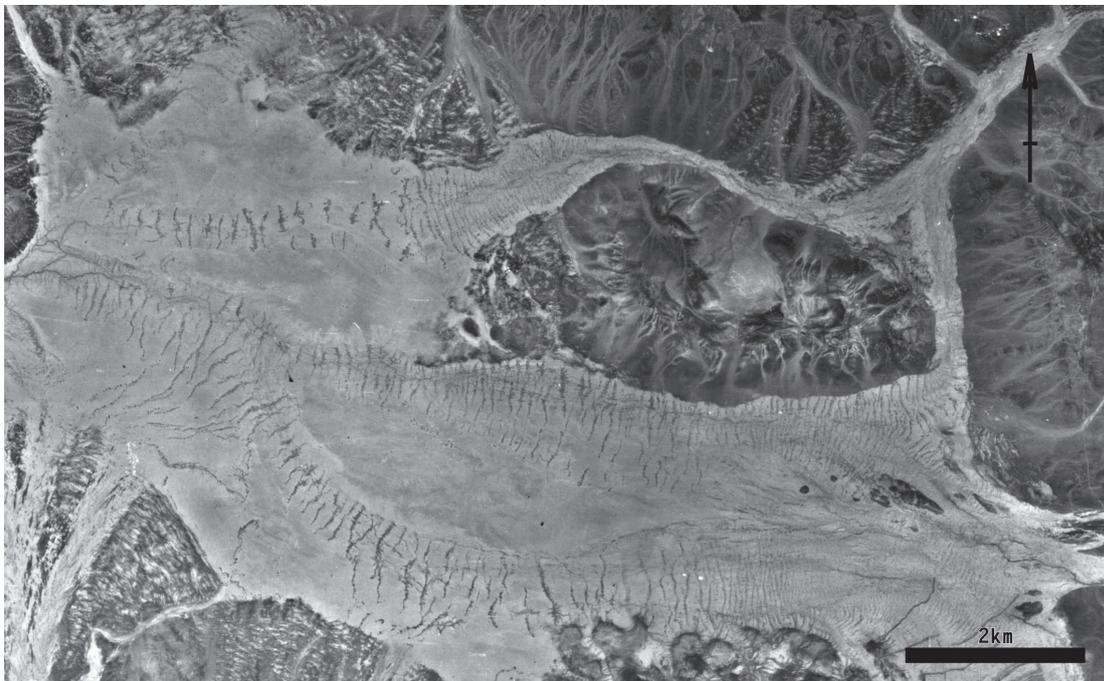


写真3 ヨルダン西部 Karak の東方約 45km、Qa al Hafira 付近の空中写真（1953年英軍撮影 60-11-137 と 60-14-028）の一部